

○ 平成22年度（第2回）国有林モニター会議を開催

平成22年12月3日、広島県（広島森林管理署管内）において、管内の国有林モニター代表9名が出席し、「平成22年度（第2回）国有林モニター会議」を開催しました。

今回は、世界文化遺産である厳島神社の所在する廿日市市宮島町の宮島国有林において、檜皮採取対象林と治山事業施工地の現地見学及び国有林野の管理経営などについて意見交換会を実施しました。

はじめに、「檜皮採取対象林」の現地見学では、「檜皮採取対象林の設定経緯」や「檜皮の取引状況」などの質問があり、「檜皮の森は、普段見ることが出来ない現場であり、大変貴重だった」とのご意見をいただきました。

その後、「宮島の植物」についての説明を交え移動し、「治山事業施工地」の現地見学では、平成17年の台風による集中豪雨により、山腹崩壊した箇所での谷止工などにより復旧した状況の見学を行い、「景観やその土地に依じて工夫されている施工内容を知ることができ、大変貴重だった」などのご意見をいただきました。

また、意見交換会では、「マツクイムシなどの森林被害」や「林業の後継者不足、若者の林業就労に対する支援対策」、「木材自給率向上の取り組み」などの質問や「国有林で檜皮採取など貴重な取り組みを行っているが、一般の人には伝わりにくい。国有林の取り組みをもっとPRするべき」など貴重なご意見をいただきました。

今回の会議で得られた貴重なご意見などを活かし、引き続き国有林野の管理経営に反映させるよう努めていきます。



（「檜皮採取対象林」見学の様子）



（「宮島の植物」の説明を聞くモニターの方々）



（「治山事業施工地」見学の様子）



（意見交換会の様子）